

あなたと議会

～全議員アンケートを実施～
各議員の新庁舎整備についての
考えを公開!!

市政を問う
議会からあなたへ

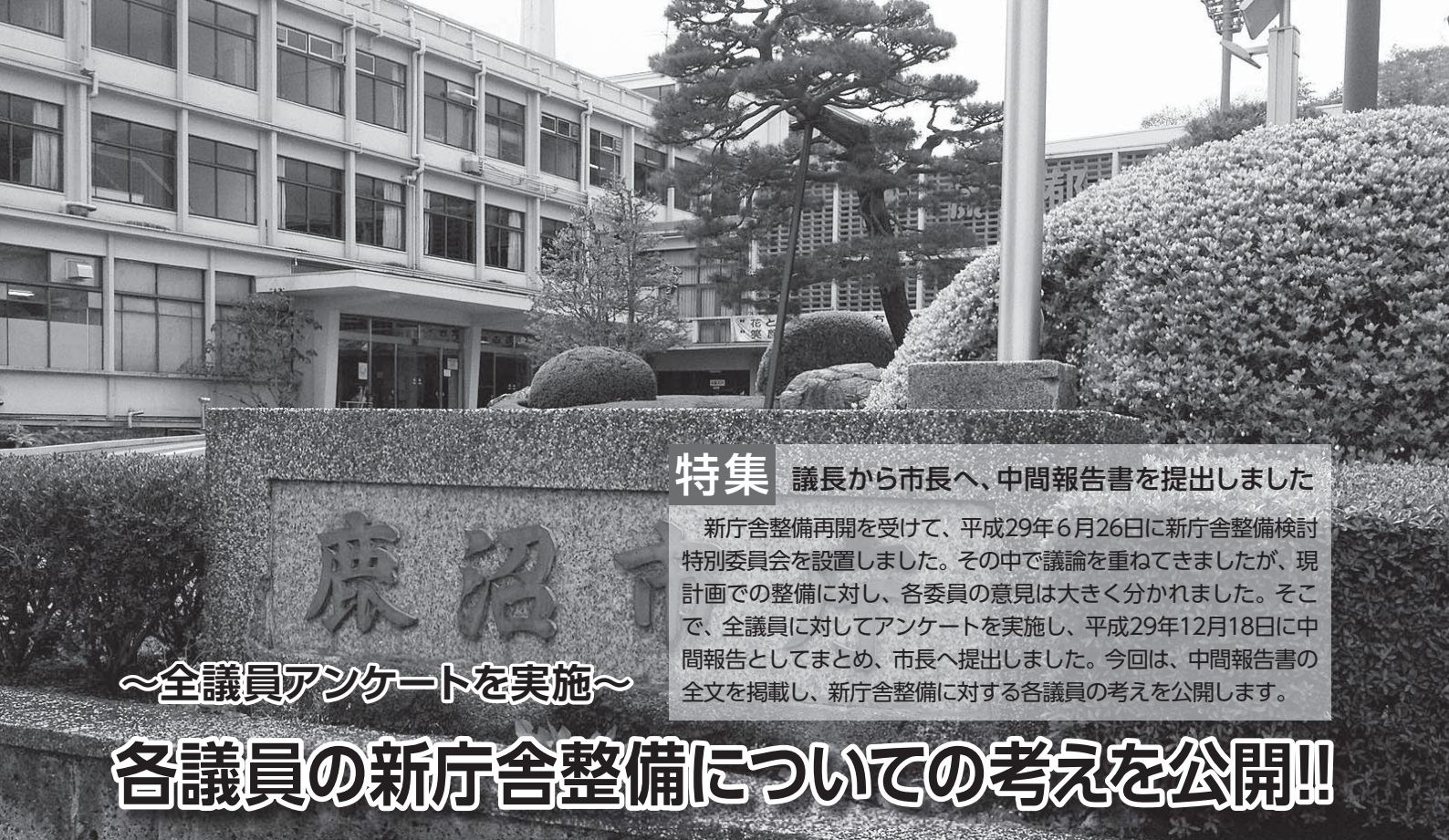


2018
198号
2月26日発行



板荷のアンバ様
撮影場所：鹿沼市板荷





特集 議長から市長へ、中間報告書を提出しました

新庁舎整備再開を受けて、平成29年6月26日に新庁舎整備検討特別委員会を設置しました。その中で議論を重ねてきましたが、現計画での整備に対し、各委員の意見は大きく分かれまして。そこで、全議員に対してアンケートを実施し、平成29年12月18日に中間報告としてまとめ、市長へ提出しました。今回は、中間報告書の全文を掲載し、新庁舎整備に対する各議員の考えを公開します。

～全議員アンケートを実施～

各議員の新庁舎整備についての考えを公開!!

新庁舎整備検討特別委員会調査報告書（中間報告）

新庁舎整備事業は平成27年5月に基本計画が決定され、同時に建築工事費の高騰を理由に事業が延期されました。その後、平成28年4月に熊本地震が発生し、現地の市庁舎が大きな被害を受けた事例もあり、防災拠点としての市庁舎の必要性が全国的にも高まり、本市においても防災拠点の必要性を考慮し、建築工事費は高止まりのままだが新庁舎整備事業が再開されました。

議会においては新庁舎整備事業再開後、新庁舎整備検討特別委員会を平成29年6月に設置し議論を重ねてきましたが、各委員の意見は大きく分けて賛成、反対に分かれました。まず、賛成派の意見として、①基本計画は議会も認めて来て、今更疑義を唱えること自体が不合理である。②現在の庁舎の位置は鹿沼市の中心市街地にあり、昔から市民

に慣れ親しまれてきた歴史ある場所である。③今までも重なる住民説明会等により住民の理解も一定程度は得られている。④建築工事費の高騰についても、全体事業費60億円の内、可能な限り木造木質化を進めることが可能である。⑤交通の不便もなく計画された駐車場台数で十分であり、防災拠点としての役割も果たせる等の意見がありました。

次に、反対派の意見として、①建築工事費が高騰化したままでは、建築規模の縮小化等が必要となり、十分な市民サービスを行えない。そこで、現庁舎敷地でなく、もっと広い敷地に低層階の庁舎を建築することで、建築工事費が圧縮され、木のまち鹿沼にふさわしい木造庁舎が建築可能となり、地元経済の活性化にも貢献することが出来る。②現在の計画より多くの駐車場を用意することで、避難し

てきた住民も十分に駐車可能となり、災害時の緊急車両等の出入りもスムーズに行える。③現在の事業スケジュールはあまりにも拙速で、もっと時間をかけて検討した方が住民により良い庁舎が出来る等の意見がありました。このように意見の隔たりがあるため、当委員会では各々の委員の意見を次の通り報告し、執行部に対し、今後新庁舎整備事業を進めるに当たり十分に検討を行うよう求める事を報告します。



意見集約日 平成29年11月27日

新庁舎の整備について、現庁舎の位置（今宮町の敷地）で良いか。

	良 い	良くない（ここなら良いと思う場所）
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、市田登、館野裕昭、大貫毅、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅（上殿町警察署北側）、佐藤誠（御殿山球場、上殿町）、荒井正行（上殿町等）、鈴木敏雄（上殿町消防署周辺、御殿山公園）、谷中恵子（上殿町消防署周辺、御殿山公園）、津久井健吉（上殿町警察署北側）、関口正一（上殿町警察署北側）、増渕靖弘（上殿町警察署北側）、横尾武男（上殿町警察署北側）、鰐原一男（上殿町警察署北側、御殿山公園）、赤坂日出男（村井町ベイシア跡地）

交通アクセスの利便性は十分か。

	十 分	不 十 分
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、館野裕昭、大貫毅、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、市田登、佐藤誠、荒井正行、鈴木敏雄、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

駐車場の計画は十分か。

	十 分	不 十 分
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、館野裕昭、大貫毅、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、市田登、佐藤誠、荒井正行、鈴木敏雄、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

防災拠点としての機能、役割は十分か。

	十 分	不 十 分
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、館野裕昭、大貫毅、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、市田登、佐藤誠、荒井正行、鈴木敏雄、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

どのような構造が良いか。

	鉄筋コンクリート造及び一部木造木質化	木造木質化
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、館野裕昭、荒井正行、大貫毅、鈴木敏雄、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、市田登、佐藤誠、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

建設規模12,000㎡が、総事業費60億円で建設可能と思うか。

	可 能	不 可 能
委員	石川さやか、島田一衛、阿部秀実、加藤美智子、市田登、館野裕昭、大貫毅、鈴木敏雄、小島実、湯澤英之、大島久幸、大貫武男、船生哲夫	鈴木毅、佐藤誠、荒井正行、谷中恵子、津久井健吉、関口正一、増渕靖弘、横尾武男、鰐原一男、赤坂日出男

鈴木 毅

これから人口減に向かう日本社会に対し、維持費等がかかる3階建以上の建物はランニングコストが上がる為、低層が良いと思う。他の市町役場は全て2階ないし4階建で建設していることは、それを物語っていると思います。

石川さやか

市議会の三分の二以上の同意が無ければ現地からの移転ができない以上、移転の議論は無意味。コンパクトシティーを見据えた上で、鹿沼のシンボルとなるような庁舎建設のための現実的で実のある議論を推し進めるべき。

阿部 秀実

現庁舎の位置での建替えは5年前から市と市民と議会の協力により決めてきた。建設計画を進めることでBCPの確立と市民・職員の安全確保を。ただし、敷地内の南側の建設や60億円を超える予算では反対をします。

島田 一衛

新庁舎整備基本計画に基づく基本設計の予算は議会で議決されています。東京五輪建設資材高騰の為中断中で有りましたが後戻りする事なく防災拠点として早期に市民に愛される新庁舎整備を推進して頂きたいと思います。

市田 登

市民の声が二分している事を考慮すれば分庁舎方式が良い。分庁舎のメリットとして身近で便利、災害時の活動拠点が分散する事で、より市民サービスが出来る。駐車場の確保がしやすく、地域も活気が出て合理的である。

加藤 美智子

RC造とし一部を木質化。木のまち鹿沼をPRできる造とする。今後も鹿沼の中心市街地の顔として存在させ市民の憩いの場を確保する。防災拠点のセンター的機能を担い地区コミセンと深く連動させ、有事の際の司令塔とする。

舘野 裕昭

中心市街地の活性化を促進させ、伝統と市民に馴染みの持てる庁舎を現庁舎位置で迅速に進めて戴きたい。少子高齢化が加速する中、今後の基本設計等で市民に優しい空間を提供出来るようにして行きたいと考えます。

佐藤 誠

手狭な土地に無理に建てるべきではない。大手ゼネコンありきのコンクリートのビルより、地元の木材と職人と業者による新庁舎で地元経済を活性化すべき。大胆で公平な発想で鹿沼の百年先の発展の可能性を追求すべき。

大貫 毅

市民代表による推進会議など多くの市民の声を踏まえ、現庁舎位置で建替える基本計画が策定されている。この基本計画に基づく基本設計の平成29年度予算を、議会として決定しているのだから、後戻りはありえない。

荒井 正行

新庁舎整備は、市民の利便性の向上の為には、駐車場の台数や幅など質の改善は必須。事業の延期により、スケジュールが当初予定から変更になった為、整備内容や位置変更も含めて再検討すべき。

自由意見

谷中 恵子

市役所のあるべき姿、市民の利便性を図るため、ワンストップサービスが十分取り入れられる各階の床面積を確保すると共に、安心して停められる駐車スペース、駐車場が必須であり、できるだけ広い土地への建設を望む。

鈴木 敏雄

市民サービスの点から考えると、交通アクセスの利便性、駐車場スペース等の点から、現庁舎の位置では不十分と考える。執行部にはその点を考えてもらいたい。

小島 実

候補地の一つ「下水道事務所周辺地域」は黒川上流で大規模水害が発生した場合、さつき大橋に流木瓦れきが掛りせき止になり、また川の近くは水害時は常に心配だ。那須の水害で復旧工事に従事した私は川、橋の近くは反対。

津久井 健吉

もっと、広い場所の消防、警察がある上殿の位置が最適。アクセスの良い、駐車場も多く200台～300台は数多く取り、防災に備える。木造木質化、木のまち鹿沼にふさわしい建物を作る。

増淵 靖弘

現市庁舎の場所は、防災拠点としては、道路、駐車場共に狭く、これからの50年先を考えると、交通アクセスも良く、広い敷地に完全木造木質化の新市庁舎を建設する事が、これからの鹿沼市の中心になると考えます。

湯澤 英之

先人から受け継がれた現庁舎であり、後世にその伝統と文化、誇りを継承する意味と、これからの鹿沼市が、持続的に発展する中で伝統を重んじる事を育てる意味を持つよう、現庁舎で建設する事です承していきたい。

鰐原 一男

子孫に誇れる新庁舎整備を目指し、将来を考え発展の可能性のある新たな広い場所に建設すること。市民のゆとりと利便性の向上に応える駐車場が十分確保でき“地材地建”をコンセプトに木造木質の新庁舎建設の実現を。

横尾 武男

今日の車社会の現状では現在の所では狭すぎる。常に駐車場の事で苦慮する。市民の為の庁舎であるべき。防災拠点としては不適である。警察署道路北側付近を買収又は市の所有地が適当。鹿沼材を使用する。十分議論する。

赤坂 日出男

下水道施設の隣の用地以外の選択を考えてみてはいかがか？総工費60億円は、現状で不可能だと思ふ。万が一予算通りで建設ができない場合は、どうするのか。面積を減らすのか？補正を組むのか？心配で眠れない。

大島 久幸

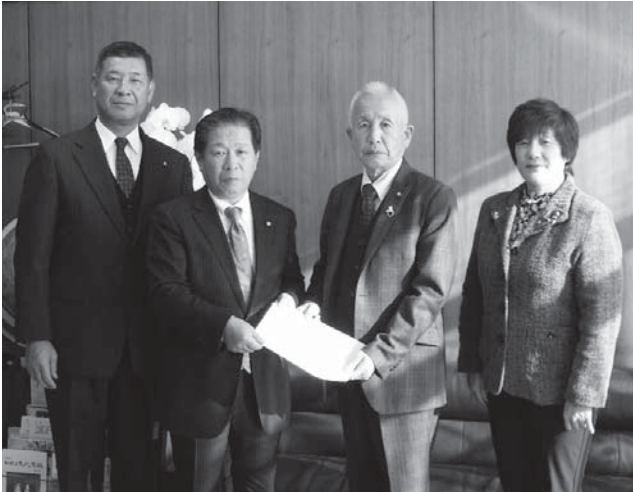
鹿沼市の街づくり歴史的経緯を考え現地が最適。交通不便無く計画駐車台数で十分。防災拠点機能等は計画立案する中で検討し十分なものとする。RC造で一部木造木質化を行う。60億円で可能な建物とし多少増額は認める。

船生 哲夫

御殿山公園の一部である「テニスコート」を庁舎の一部として利用する。

大貫 武男

私は、現庁舎位置に建設すべきと思います。歴史的にも、又本市が進めている街づくりにも合致しています。各地区ごとにコミュニティセンターが設置されており、人口減少している今、60億円以内での建設にすべきです。



▲正副委員長から正副議長へ



▲議長から市長へ

庁舎の視察を行いました。

平成30年1月29日、新庁舎整備の研究のため、新庁舎整備検討特別委員会と総務常任委員会が合同で、下野市と那珂川町の庁舎の視察を実施しました。当日は、新庁舎整備について事業説明を受けるとともに、庁舎を見学しました。両庁舎とも県産材、地元産材が活用されており、大変参考になりました。

下野市視察



那珂川町視察



常任委員会の行政視察

総務常任委員会

- 11月21日 熊本県 合志市
「公共施設等総合管理計画」
- 11月22日 熊本県 宇土市
「震災復興計画」

合志市の公共施設等総合管理計画について

計画の基本構成として「新しく造る」ことから「賢く使う」ことへの転換というコンセプトの下で、①保有総量の抑制・適正化、②施設の計画保全と長寿命化の推進、③施設運営コストの縮減という3つの柱を掲げています。計画の最終年度の人口一人当たりの延べ床面積の目標は2.3平方メートル、これは面積ベースで現時点から10%削減することであり、この目標は人口が今後も増加傾向という恵まれた稀有な条件を考慮し、27.4%削減を掲げる本市と比較すると極めて実現可能であると言えます。



文教民生常任委員会

- 11月13日 京都府 綾部市
「あやバス」
- 11月14日 京都府 京丹後市
「上限200円バス」「EV乗合タクシー」

京丹後市の「上限200円バス」について

京丹後市のバスは民間事業者の路線バスと市営バスからなり、平成19年10月から運賃を全市内上限200円とする取り組みを行っています。上限バスの基本的な考え方は、200円×7人の発想で、多くの市民が乗って喜んでくれることで「住民福祉」の増進を図るというものです。「利用者視点に立ち、利便性の向上策を考えること」「1回の乗車での満足でなく、愛されるバスとすること」により、補助金を生きた補助金にする取り組みでした。こうした視点を考えなければならぬと感じました。



環境経済常任委員会

- 10月24日 北海道河西郡 芽室町
「木質バイオマス」
- 10月25日 北海道河東郡 鹿追町
「鹿追町環境保全センター」

鹿追町の鹿追町環境保全センターについて

鹿追町環境保全センターは、集中型バイオマスプラントであり、家畜排せつ物や生ごみ等のバイオマスを嫌気性発酵することにより生じたバイオガスを利用し発電し、発酵処理後のバイオマスを有機質肥料として利活用しています。このセンターの設置により、環境の改善・農業生産力の向上・地球温暖化の防止・循環型社会の形成・地域経済活性化の推進と一石五鳥のメリットがある他に、余剰熱の利用により、チョウザメの飼育や農作物の栽培を取り入れ、雇用創出はもとより地域経済に貢献しています。施設運営等の成功事例として大変参考になりました。



建設水道常任委員会

- 11月13日 鳥取県 鳥取市
「鳥取市道路アセットマネジメント基本計画」
- 11月14日 鳥取県 米子市
「米子駅南北自由通路等整備事業」

鳥取市の「鳥取市道路アセットマネジメント基本計画」について

今後、急速に老朽化が進む道路施設は、持続可能で的確な維持管理・更新をするための長寿命化計画を作成し、そして、道路アセットマネジメントに取り組み、ライフサイクルコストを縮減させ、更新時期の平準化と費用の最小化を図りながら、対症療法型から予防保全型の道路管理へ転換していくことが必要です。鳥取市では、対症療法型から予防保全型にシフトすることで工事費用を圧縮する目標を立てることが可能となりました。



子どもの遊び場の整備について 伺う



市政を 問う

第4回定例会で17人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。



質 問

子どもの遊び場について①整備場所②今後のスケジュール③メインとなる遊具とコンセプトについて伺う。

答 弁(市長)

「みどりの産業館」を屋内遊び場として改修し、木育の拠点となるような整備を考えています。

①これまで候補地を検討してきた結果、鹿沼市花木センターの「みどりの産業館」を改修し、屋内遊び場として整備することにしました。

②平成30年度に設計を行い、その翌年度に改修工事と遊具の

設置を考えており、平成31年度から平成32年度の当初にはオープンする予定です。

③栃木県内他市との差別化を図り、市内外から人を呼び込むためには、本市ならではの特徴を持つ必要があると考えています。

現時点では本市の森林認証材でつくられた遊具にあふれ、子供たちに魅力いっぱいの木育の拠点となるよう、メインの遊具には、「木のまちかぬま」をアピールでき、かつ子どもの遊び場の象徴となるような大型木製遊具の設置を考えています。

併せて、木育体験をメニュー

その他の質問事項

- 医療的ケア児の保育支援について
- 中学校の部活動について
- 市庁舎建て替えについて

とした様々な事業を実施し、一緒に来た家族など幅広い年齢層の来場者も楽しむことができるようにしていきます。さらに、食育や花育などの体験メニューも取り入れていきたいと考えています。



鈴木 敏雄 議員

観光振興について伺う



質 問

市における栃木デスティネーションキャンペーンの取り組みについて伺う。

答 弁 (経済部長)
目玉となる特別企画として「鹿沼春の彫刻屋台まつり」の開催を予定しています。

平成30年4月から6月が本デスティネーションキャンペーン期間に位置付けられ、集中的に広告宣伝やプロモーション活動が行われ、全国へ地域の魅力を発信できるとともに、多くの観光客が訪れることが期待されます。

次年度4月からの取り組み

は、プレデスティネーションキャンペーンでの課題であった目玉となる特別企画として「鹿沼春の彫刻屋台まつり」の開催を4月29日に予定しています。内容は、鹿沼秋まつりダイジェスト版としてけんらん豪華な彫刻屋台を特別公開するもので、この機会に観光客が市内を回遊できるような「いちごフェア」や飲食店などの連動企画を検討しており、さらなる鹿沼ファンの獲得を目指していきます。

このほか、期間中には市内事業者への説明会や意見交換会を重ねて企画された15事業が開催されます。

その他の質問事項

- 平成30年度の予算編成について
- 子どもの遊び場整備について
- 市民活動等の安全対策について

市・市民・市内事業者が一丸となって本デスティネーションキャンペーンに取り組み、その後も継続的に地域に根付く観光素材の発掘・磨き上げに努め、地域の活性化、交流人口の増加を図っていきます。

船生 哲夫 議員

新庁舎整備について伺う



質 問

下水道事務所周辺の土地について伺う。

答 弁 (市長)
将来的に黒川終末処理場の再構築用地を予定しているため、目的外使用は不適当であると考えます。

まず、浸水区域としての水防法に基づく水深については、平成20年5月に県より指定をされ、現時点では下水道事務所周辺の土地の水深は「0.5から1メートル未満」の第2段階です。平成27年7月の水防法の改定に伴い、県では見直しのため再調査を行っています。近年のゲリ

ラ豪雨に伴う洪水により、下水道事務所周辺の地域についても水深がかなり深くなるものと推測しています。

下水道事務所西側の土地は、下水道用地として国庫補助を導入し取得した土地です。目的外の用途に使用する場合は、処理場用地の縮減事由が下水道事業にとって有効となることを示した上で、都市計画決定や下水道事業計画の変更等、関係法令に基づき手続きが必要となります。国庫補助金の返還も必要となります。現在、災害対策用地として利用していますが、将来的に黒川終末処理場の事業用地とし

て、施設の再構築用地を予定しているため、目的外使用は課題も多く、不適当であると考えます。

その他の質問事項

- 平成30年度予算編成について
- 防災対策について
- 道路行政について

いじめ、不登校について伺う



質 問
いじめ、不登校防止対策について伺う。

答 弁 (教育長)
いじめは6月と12月に啓発活動を実施し、不登校は欠席状況調査を実施し、早期発見に努めています。

いじめの予防については、発件数が最も多い6月に市内全小中学校において啓発活動を実施しています。さらに、12月の人権週間に合わせて「いじめ防止啓発週間」を設定し、人権教育とともに推進しています。不登校の予防については、欠席状況調査を実施し、不登校傾向児

童生徒の早期発見に努めています。また、いじめ・不登校双方の予防としては、個人や学級の状態を把握し、学級経営に活用する「楽しい学校生活を送るためのアンケート(QUTテスト)」の実施や教職員を対象とした研修会を開催しています。

次に、支援策ですが、いじめの報告を受けた際には「鹿沼市いじめ防止基本方針」をもとに、学校に対して必要な支援や措置を講じており、再発防止に向けて適切かつ継続的な指導支援を行っています。不登校児童生徒へは、年間15回程度開催している「不登校対策ネットワーク会

議」で事例検討を行い、関係機関と連携して学校復帰や社会復帰に向けた支援を行っています。また、本市の適応指導教室(通称アメニティホーム)では、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立ができるよう、指導主事、教員、教育相談専門員が指導・支援をしています。

その他の質問事項

- 新庁舎整備について
- 道徳と心の教育について

鳥獣被害対策について伺う



質 問
本市の鳥獣被害対策実施隊の活動状況並びに今後の有害鳥獣に対する取り組みについて伺う。

答 弁 (経済部長)
市長指名の職員7名と猟友会推薦の狩猟免許のある43名を任命しています。

本市では、平成28年4月1日に総勢50名による鹿沼市鳥獣被害対策実施隊を結成しました。実施隊の活動は、被害地や被害の恐れのある箇所の見回り、緊急時の対応、有害鳥獣の捕獲などです。

次に、鹿沼市鳥獣被害対策実

施隊員または協力員の指名・任命については、実施隊は50名で、市長が指名した職員7名と猟友会から推薦のあった狩猟免許のある者43名を任命しています。

今後の有害鳥獣に対する取り組みについては、国の補助金を活用した侵入防護柵を設置した地区において、アンケート等により被害状況や防護柵設置の効果を検証し、より効果的な防護柵の設置につなげていきたいと考えています。併せて、鹿沼市鳥獣被害対策実施隊による目撃情報の多い箇所への集中的なパトロールを実施し、放置作物への指導を行うとともに、野生鳥

その他の質問事項

- 犬猫殺処分ゼロに向けた取り組みについて
- 災害対策について

獣の近づきにくい環境づくりを進めていきます。さらに、新たな施策として、センサー付き大型囲いわな及びオオカミを模した威嚇装置の導入を進め、効果的な有害鳥獣対策を推進していきます。

入札制度について伺う



森林認証材について伺う



質 問

森林認証材の普及について、
①オリンピック関連施設への鹿沼産森林認証材の売り込みについて②鹿沼産森林認証材の供給について伺う。

答 弁(市長) 「ビレッジプラザ・選手村」に認証材を供給することが正式に決定しました。

①これまで国や栃木県の行政機関に5回、木材関連団体や大手建設会社へ9回、私が直接訪問をし、鹿沼産材のPRを行ってきました。今後もPRの機会を逃さぬようトップセールスを含め、様々な売り込みを行って

質 問

建築、土木工事の入札状況について、①平成28年度の平均落札率②一般競争入札対応の案件を指名競争入札に改める考えはないのかを伺う。

答 弁(市長) 指名競争入札の拡大を引き続き検討していきます。

①平成28年度の建築・土木工事の一般競争入札案件が102件で、指名競争入札は145件であり、平均落札率は、一般競争入札では92・85%、工事別では建築工事が94・05%、土木工事が91・65%です。

②一般競争入札は手続きの客

きます。これまでのPR活動と早くからの森林認証取得を進めた結果、10月に「ビレッジプラザ・選手村」に認証材を供給することが正式に決定をしました。

②現在本市では、小規模な森林所有者や中小規模の林業木材事業所をメンバーに「鹿沼市森林認証協議会」を組織し、その事務局を担っています。役割は、官民一体となった強みを生かし、業界の協力を得て、私自身がトップセールスを行い林業木材業界へつなぐルートを確保してきました。将来的には製品の売り込み・販売戦略等は業界を中心に実施していくものと考

観性・透明性が高いため、発注者の裁量の余地が少なく、公告及び入札結果等が広くホームページ等に公表されることにより第三者による監視が容易であり、また、潜在的な競争参加者の数が多いことから不正が起きにくい等の特徴を有しています。一方、指名競争入札は信頼できる受注者を選定し、手続きが簡易で早期に契約できる等の利点を有しています。

現在本市では、予定価格500万円以上の建築・土木工事は一般競争入札を導入しています。近年多発する自然災害への対応として、工事を早期に着手できる

えています。

また、事業者の確保は、現在認証を受けている事業者が11社であり、さらなる認証事業者の拡大を図るため、認証取得費用の2分の1を補助する制度を行っています。そのほか、グループ認証に加入できない規模の大きな企業・事業所等とは事業の提携を約束し、協議会の会員という形で結びつきを強くし、協力体制を構築しています。

その他の質問事項

- 新庁舎の整備計画について
- 行政情報の発信について

その他の質問事項

- 公共施設等の利活用について
- 空き家対策について
- 焼却灰の溶融施設について

よう本年11月からは、災害復旧の入札については同様の取り扱いを実施することにしました。今後も、透明性・公平性の確保を図るとともに、事業執行の迅速化・効率化に資する適切な規模での指名競争入札の拡大について、引き続き検討していきます。

地域の夢実現事業について伺う



質 問

①地区別の申請状況②今後の見通しについて伺う。

答 弁(市長)

現時点では、5地区から申請書が提出され、交付決定を行いました。

①南押原・粕尾・菊沢・西大昔・北押原の5地区から申請書が提出されました。申請された事業計画については、各地区からの申請書および事業計画書に意見を付与し、公共性や公益性、事業効果などの15項目について審査し、交付決定を行いました。申請地区では附帯された意見を考慮した内容で、事業に着手す

ることとなりますが、各々の事業については、年度ごとにその効果等を検証し、必要に応じ修正等も加えながら事業を進めていただきます。

②現在未申請の12地区から申請が提出されるものと想定しています。平成30年度において、引き続き各地区の事業検討会議等に地区担当職員が参加し、事業の周知や円滑な推進に向けた支援も行っていく予定です。また、先行地区の事業内容を広報かぬまやホームページ等で公開し、現在検討中の地区においても参考事例として活用いただくことも考えており、今後も市民に

対し、地域の夢実現事業のPRに努めていきます。さらに、各地区においても、事業計画の進捗や実施状況をコミュニケーションターだより等に掲載し、常に地域住民が参加しやすい体制を整えながら、地域の協働による地域づくりを推進していきたくと考えています。

その他の質問事項

- 赤ちゃん交流体験事業いちご未来ふれ愛プロジェクトについて
- 農業と福祉の連携について

鹿沼運動公園の整備について伺う



質 問

陸上競技場の整備について伺う。

答 弁(教育次長)

今の時代に合った施設整備を計画的に進めていきます。

鹿沼運動公園は、昭和55年の第35回国民体育大会「栃の葉国体」の際に段階的に整備を行ったことから、開設からおおむね35年から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。陸上競技場については、日本陸上競技連盟第4種陸上競技場の公認を平成33年4月まで5年間継続するために、平成27年度に整備工

事を実施しました。

市内の陸上競技関係者からも「トラックを全天候舗装に改修してほしい」などの意見をいただいていますので、利用者のニーズについては十分認識しています。

スポーツ施設の整備については、第7次鹿沼市総合計画や鹿沼市教育ビジョンにその方針を掲げており、今後の時代に合った施設整備を計画的に進めていきます。まず、平成34年に開催が予定されている次期国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の競技場となる鹿沼総合体育館などの整備を優先的に実施して

いきたくと考えています。

その他の質問事項

- 国民健康保険について
- 市立図書館と学校図書館の司書について
- 新庁舎整備について
- まちの駅新鹿沼宿について

南摩ダムについて伺う



質 問
南摩ダム周辺の整備事業について伺う。

答 弁 (総務部長)
自立して管理運営ができる施設の整備を目指し、地元と調整を図っていきたいと考えます。

(仮称)ハーベストセンター整備事業については、水源地域対策特別措置法に基づく、地域整備事業、いわゆる水特事業で地域整備や地域振興のために実現するものです。現在、地元選出の委員で構成された(仮称)ハーベストセンター整備事業推進検討委員会と庁内の関係課長等

で構成された(仮称)ハーベストセンター建設推進委員会を開催し、見直しを行っています。施設整備については、地域活性化の拠点施設として自立して管理運営ができる施設の整備を目指し、専門的・実用的な技術や知識等を持つ民間の活用を含め、地元と調整を図っていききたいと考えています。

次に、温泉掘削計画については、平成30年度に温泉掘削許可申請を行い、平成31年度に温泉掘削を実施する予定です。

ダム周辺道路を活用したサイクリングロードの整備については、現在、独立行政法人水資源

その他の質問事項
○道路整備事業について
○野生鳥獣による被害対策について

鹿沼市の土木・建設事業について伺う



質 問
鹿沼市の土木・建設事業の諸問題について伺う。

①社会における役割、重要性
②雇用の促進と技術者の育成

答 弁 (市長、都市建設部長)
働き方改革や教育訓練等の充実を図っていくことが大切と考えています。

①土木・建設業の地域社会における役割は、第一に社会資本整備を通して、地域産業の活性化と雇用を維持する役割、第二に環境美化・保全活動等社会貢献活動に取り組み役割、第三に災害等の緊急時における応急・復旧活動等、地域の安全と安心

を守る重要なことと認識をしています。

②本市では、「地方創生推進交付金活用事業」により平成28年度から3年間雇用促進対策を実施しているところです。本年5月に「鹿沼市雇用・移住・定住促進協議会」を立ち上げ、関連機関と連携した雇用対策や「求人企業合同面接会」「新規高等学校卒業予定者対象就職情報懇談会」を実施しました。技術者の育成については、鹿沼共同高等産業技術学校で計46名が専門技術を習得するための訓練を受けており、ものづくりの訓練期間

その他の質問事項
○新庁舎整備事業について

は重要と考えています。建設業の担い手・技術者不足は、災害時の初動対応等の役割が担えなくなり、安全安心な市民生活の維持に支障が生じることになります。そのようなことから、人材を確保していくため、処遇の改善、週休2日制の実現、長時間労働の是非といった働き方改革や教育訓練等の充実を図っていくことが大切だと考えています。

南押原地区の振興について
伺う



質問

南押原地区の振興について、地域の夢実現事業について伺う。

答 弁(市長)

今後の地域づくりのモデルケースの位置づけで、他地区の参考となるような事業展開に期待を寄せています。

地域の夢実現事業は、少子高齢化の進行や人口減少に対応するため、地域の資源等を活用しながら、地域の活力を創造していくこととするものです。

今回、南押原地区で計画されている「友遊館事業」は、旧南押原児童館を改修し、「困って

いる人を近所で支え合う福祉のまち」「心を育む元気な子供たちのまち」をコンセプトにして、高齢者や子供たちが集うサロンやカフェ、学びの場、地域の博物館等を設置し、運営していく計画であり、さらにここを拠点とする交流人口の拡大を図るための田んぼアートや高齢者の買い物支援の実施など、多様な事業内容となっております。

審査会でも、「盛りだくさんの内容であり、地域住民の参加と協力が不可欠であるが、先導的業務として頑張ってもらいたい」という意見が付された採択をされており、本市としては、今後の

その他の質問事項

- コミュニティセンターに併設された地区公民館について
- 小中学校におけるタブレット端末の設置・利用状況について

鹿沼市の次代を担う青少年育成について伺う



質問

鹿沼高校クリエイティブフォーラム(課題解決型学習)のコンセプト及び本市の関わりについて伺う。

答 弁(教育長)

アドバイザーとして指導助言やテーマの探求作業等への協力を行いました。

クリエイティブフォーラムとは、栃木県立鹿沼高等学校主催の事業で、グローバルな視点を持ち、急激な社会変化に対応しながら自主的・主体的に活動し、自分の将来像を自ら実現しようとする人材の育成を図ることを目的としたプログラムです。そ

の研究対象に鹿沼市第6次総合計画の施策をテーマに掲げ、市へ提案・提言できる内容にしていくための指導・助言を行う職員の出遣依頼がありました。4月のオリエンテーションで、現在の行政が抱える基本的な問題点、具体的な取り組み、総合計画、総合戦略などに関する講話を実施し、テーマごとに分かれたグループへのアドバイザーとして指導助言やテーマの探求作業などへの協力を行いました。

各グループはテーマごとに5つのカテゴリーに分かれ、研究を重ね、9月にカテゴリー代表

その他の質問事項

- 公共施設等総合管理計画について
- 新庁舎建設について
- 旧総合教育研究所分室跡地について

大 貫 毅 議員

市庁舎建設について伺う



質 問
 市庁舎建設について伺う。
答 弁 (市長)
 市民の皆さんの信任をいただいたことで、新庁舎整備基本計画に基づき作業に着手した次第です。
 現在までの経過について、平成24年9月に「鹿沼市庁舎整備検討委員会」を設置し、以降庁舎の規模や位置、機能等の「基本構想に必要な事項」について、合計9回議論をしています。平成26年10月には、「鹿沼市新庁舎整備基本計画策定推進会議」を設置して合計5回議論をし、今年度からは「鹿沼市新庁舎整備

市民会議」を設置し、これまで公募型ポータルの実施要領等について検討をお願いしています。また、これまで2回アンケートを実施しており、1回目の車座集会等では回答層にかなりの偏りがあったと考えています。2回目の世論調査では、庁舎位置について現在地と他の場所が全くの同率38.7%でした。
 次に、市長選挙での市庁舎建設に関する公約、主張について私は「先延ばしはできない。費用を抑制し、時期を考えたい」あるいは「場所は現在地、総額60億円を上限に引き続き検討していく考え」等を主張しました。

その他の質問事項
 ○予算編成について
 ○「いちご市」かめまの今後の戦略について
 ○シェアリングエコノミーの推進について

鈴木 毅 議員

都市計画区域について伺う



質 問
 土地利用について、平成18年改正都市計画法施行以前より、調整区域内に建築してある公共公益施設の農業振興地域への拡張に伴う開発許可について伺う。
答 弁 (都市建設部長)
 一部の公共公益施設は、農振農用地への敷地拡張はできないこととされています。
 平成18年改正都市計画法により、それまで開発許可が不要であった公共公益施設が許可対象に加えられました。現在、市街化調整区域に建築してある公共公益施設の敷地拡張に伴う開発

許可については、都市計画法第34条の許可基準に基づき、審査を行っています。「栃木県開発審査会運営規定」によれば、一部の公共公益施設の敷地拡張は、当該区域に「農業振興地域の整備に関する法律」に基づく農用地区内農地等保全すべき土地、いわゆる農振農用地が現在含まれていないこと等の条件があります。このようなことから、一部の公共公益施設においては、農振農用地への敷地拡張はできないこととされています。この規定は、栃木県が栃木県の開発審査会の議論を経て定めたもので、市でどうこう言えるもので

はないため、この審査規定に基づいて適正に審査をしていきたいと思えます。
 また、都市計画法第34条の第11号条例で規定する土地区域については、農振農用地は含んではいけなくなっていますので、それに従って進めていかざるを得ない状況です。ただ、その農振農用地を外したその区域以外の場所について、郡部等の既存コミュニティの維持の観点と、その辺の有効性も含めながら、都市計画法第34条の第11号の条例の制定については、引き続き研究をしていきたいと考えています。

野生鳥獣被害の防止について
伺う



質 問

本市の野生鳥獣被害の現状と防止対策について伺う。

答 弁 (経済部長)

今年度からシカ用の高さ2メートルの柵の支給および市の報償金を通年支給としました。

現状については、山林の荒廃が進んだことにより、野生鳥獣がえさを求めて人里に下りてくるようになりました。作物や果実の味を覚えてしまった野生鳥獣は、人里をえさ場としてしまい、有害鳥獣の捕獲を行っていますが被害は思うように減りません。また、有害鳥獣の捕獲

者の減少と高齢化が進んでいますが、昨年度の本市の農業被害額は、3,076万3千円であり、主に水稲、ソバ、野菜類の被害が多い状況です。被害防止策、鳥獣の隠れ家となっている土地の適正な管理、防護柵の設置、捕獲などでありますが、市で行っている主な対策は地域や個人で設置する柵への支援、有害鳥獣捕獲者への報償金の支給です。

次に、今後の被害の防止対策強化について、今年度からシカ用の高さ2メートルの柵も支給することにし、また、有害鳥獣

その他の質問事項

○新庁舎整備事業費について
○新庁舎整備基本構想について

前日光ハイランドロッジについて伺う



質 問

前日光ハイランドロッジについて伺う。(大規模改修を実施し、市西北部の経済活性化を図るべき)

答 弁 (経済部長)

適切な修繕を継続しながら施設の長寿命化を図り、集客に努めていきます。

前日光ハイランドロッジは、平成3年に整備され、平成13年度から平成16年度にかけて改修工事を行い、近年ではトイレの洋式化、動物触れ合い施設の新築、ハイキングコースの整備、あずまの更新、さらには井戸湿原の環境整備に努め、山を愛

する多くの方からご好評をいただいています。

この前日光ハイランドロッジ周辺は、標高が1200メートルを超え、夏の雷、冬の降雪や強風など、市内で最も過酷な気象条件にあるため、施設の劣化が進みやすい状況にあり、毎年設備を十分点検し、必要な修繕を行いながら利用してきました。

前回の大規模改修から約15年が経過し、簡易宿泊施設など一部に老朽化が認められますが、安全対策を最優先に当分の間は適切な修繕を継続しながら施設の長寿命化を図り、横根高原の

魅力をPRするイベントを実施するなど、集客に努めていきます。

さらに、古峯神社や大芦川、前日光つつじの湯交流館、あわの山荘など、周辺一帯の観光資源と連携を図ることでそれぞれの施設・資源の魅力アップを図り、前日光県立自然公園を含む西北部全体の経済活性化につなげていきたいと考えます。

その他の質問事項

○新庁舎整備事業について

平成29年第4回 12月定例会の結果

定例会で人事等が決まりました。

人事

(敬称略)

本会議で人事が決まりました。(議案第104～109号)

人権擁護委員

関口 昌江 (せきぐちまさえ・久野)
小太刀良男 (こだちよしお・下永野)
宇賀神文恵 (うがじんふみえ・下奈良部町)
渡邊 雅紀 (わたなべまさき・佐目町)
吉井 和夫 (よしいかずお・三幸町)

▶用語解説「人権擁護委員」

人権擁護委員法に基づいて、日本各市町村に設置される非常勤職。法務大臣が委嘱する民間のボランティア。任期は3年で、再任も可能。給与の支給はないが、職務を行うために要する費用の弁償を受けることができる。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。

鹿沼市公平委員会委員

木村 剛考 (きむらよしたか・朝日町)

▶用語解説「公平委員会委員」

公平委員会は地方公共団体職員の身分及び権利を保障するために市町村等に設置される公正・中立な第三者の人事機関。3人の委員で構成される合議制の機関で、各委員は人格が高潔で地方自治の本旨及び民主的で能率的な事務処理に理解があり、かつ人事行政に関し識見を有する者のうちから議会の同意を受けて市長が選任する。

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

請願書

紹介議員 今宮 三男
氏名 鹿沼 太郎

件名 ○○○○について
要旨 ○○○○の△△に関する××を要望します。
理由 □□□□□□□□
□□□□□□。
平成 年 月 日
鹿沼市議会議長様
請願人代表
鹿沼市○○町○○番地○
鹿沼 太郎 ㊟

特別委員会の設置

本会議で特別委員会を設置しました。(議員案第10号・11号)

◇議会改革特別委員会(定数10人)

委員長	増淵 靖弘
副委員長	大貫 武男
委員	佐藤 誠、館野 裕昭、大貫 毅、鈴木 敏雄、津久井健吉、小島 実、鰐原 一男、船生 哲夫
付託調査事項	1. 議員定数について 2. 政務活動費と議員報酬について 3. 議会改革度向上について 4. 視察報告書の全議員提出について 5. その他議会改革に関する事項

◇かぬま魅力向上特別委員会(定数11人)

委員長	赤坂 日出男
副委員長	大島 久幸
委員	石川さやか、鈴木 毅、島田 一衛、阿部 秀実、加藤美智子、市田 登、荒井 正行、湯澤 英之、横尾 武男
付託調査事項	1. 鹿沼市の魅力向上について 2. 教育と子育てを中心とした、市外在住者への移住・定住促進について 3. 鹿沼市の主に県内他市町との比較における、本市の魅力の分析について 4. その他かぬま魅力向上に関する事項

委員会が付託された調査事項について、今後検討していきます。



請願・陳情の結果

定例会で審査した結果は次のとおりです。

■陳情第3号 新庁舎の早期整備について

継続審査

■陳情第4号 「新市庁舎」整備について

継続審査

提出議案について 議員の賛否を公表

市長提出議案24件、議員提出議案2件が提出されました。
議員数23名、表決参加議員数22名（議長は表決には加わりません。）

賛否の分かれた議案

議案109 鹿沼市公平委員会委員の選任について
(17ページをご覧ください。)

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自由民主党】 横尾武男
- 【経世会】 石川さやか・館野裕昭
小島 実・湯澤英之
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸
大貫武男・船生哲夫
- 【親悠会】 市田 登・谷中恵子
- 【自民党クラブ】 赤坂日出男
- 【日本共産党】 阿部秀実

反対

- 【自由民主党】 増淵靖弘
- 【自民党クラブ】 鈴木 毅
津久井健吉・鰐原一男
- 【親悠会】 佐藤 誠

11/27 可決
賛成 17名
反対 5名

議案111 鹿沼市議会議員の議員報酬及び費用弁
償等に関する条例の一部改正について
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市
議会議員の期末手当の額を引き上げるためのものです。

議案112 鹿沼市長等の給与及び旅費に関する条
例の一部改正について
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市
長、副市長及び教育長の期末手当の額を引き上げるた
めのものです。

議案113 鹿沼市一般職の職員の給与に関する条
例の一部改正について
人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、一
般職の職員の給料表及び勤勉手当の額を引き上げるた
めのものです。

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自由民主党】 増淵靖弘・横尾武男
- 【経世会】 石川さやか・館野裕昭・小島 実
湯澤英之
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸
大貫武男・船生哲夫
- 【自民党クラブ】 鈴木 毅・津久井健吉
赤坂日出男
- 【日本共産党】 阿部秀実
- 【親悠会】 市田 登・佐藤 誠
谷中恵子

不参加

- 【自民党クラブ】 鰐原一男

12/18 可決
賛成 21名
不参加 1名

議案103 鹿沼市監査委員の選任について
本市監査委員湯澤英之氏が平成29年9月25日をもって辞
職したため、新たに佐藤誠氏を選任するためのものです。

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【自由民主党】 増淵靖弘・横尾武男
- 【親悠会】 市田 登・谷中恵子
- 【自民党クラブ】 鈴木 毅・津久井健吉
鰐原一男

反対

- 【経世会】 石川さやか・館野裕昭・小島 実
湯澤英之
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸
大貫武男・船生哲夫
- 【自民党クラブ】 赤坂日出男
- 【日本共産党】 阿部秀実

除斥

- 【親悠会】 佐藤 誠

11/27 否決
賛成 9名
反対 12名
除斥 1名

議案107 人権擁護委員候補者の推薦について
(17ページをご覧ください。)

賛成

- 【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
- 【経世会】 石川さやか・館野裕昭・小島 実
湯澤英之
- 【民進党】 島田一衛・大貫 毅
- 【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸
大貫武男・船生哲夫
- 【親悠会】 市田 登・谷中恵子
- 【自民党クラブ】 鈴木 毅・津久井健吉
赤坂日出男
- 【日本共産党】 阿部秀実

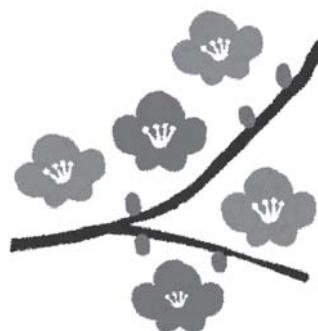
反対

- 【自由民主党】 増淵靖弘・横尾武男
- 【親悠会】 佐藤 誠

不参加

- 【自民党クラブ】 鰐原一男

11/27 可決
賛成 18名
反対 3名
不参加 1名



全議員が賛成した議案（可決）

条例の一部改正

議案99 鹿沼市民文化センター条例の一部改正について

平成30年4月から、鹿沼市民文化センターに音楽スタジオを設置するためのものです。

議案100 鹿沼市まちの駅新鹿沼宿条例の一部改正について

平成30年4月から、鹿沼市まちの駅新鹿沼宿に販売店舗用スペースとしてウッドユニットを設置するためのものです。

議案101 鹿沼市道路占用料条例の一部改正について

道路法施行令の一部改正に伴い、国道の道路占用料に準じて、占用料の額の引き下げ等をするためのものです。

議案102 鹿沼市都市公園条例の一部改正について

出会いの森総合公園の利用料金を見直し、指定管理者による民間の活力を生かした管理運営を推進するためのものです。

議案104 人権擁護委員候補者の推薦について（17ページをご覧ください。）

議案105 人権擁護委員候補者の推薦について（17ページをご覧ください。）

議案106 人権擁護委員候補者の推薦について（17ページをご覧ください。）

議案108 人権擁護委員候補者の推薦について（17ページをご覧ください。）

議案110 鹿沼市監査委員の選任について（20ページをご覧ください。）

議員案10 議会改革特別委員会の設置について（17ページをご覧ください。）

議員案11 かぬま魅力向上特別委員会の設置について（17ページをご覧ください。）

人事

議員提出議案



平成29年度補正予算

指定管理者

市道路線

条例の一部改正

議案90 平成29年度鹿沼市一般会計補正予算（第3号）について

補正額を2億1,010万9千円の増とし、予算総額を396億1,614万5千円とするものです。

議案91 平成29年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第2号）について

補正額151万2千円の増とし、予算総額を78億5,432万円とするものです。

議案92 指定管理者の指定について

出会いの森総合公園及び出会いの森親水公園の指定管理者として、特定非営利活動法人出会いの森管理協会を指定するためのものです。

議案93 市道路線の認定について

東町、千渡及び中粕尾地内において移管を受ける旧県道及び上奈良部町地内における県営上奈良部地区土地改良（区画整理）事業等に伴い新たに築造された道路を、市道として認定するためのものです。

議案94 市道路線の廃止について

上奈良部町地内における県営上奈良部地区土地改良（区画整理）事業、深津地内における県営深津地区土地改良（区画整理）事業等に伴い、道路形態のなくなった市道を廃止するためのものです。

議案95 市道路線の変更について

引田、佐目町及び深程地内における道路改良、上奈良部町地内における県営上奈良部地区土地改良（区画整理）事業等に伴い、関係する市道の起点及び終点を変更するためのものです。

議案96 鹿沼市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

市税等徴収嘱託員及び主任介護支援専門員の報酬の額を定めるためのものです。

議案97 鹿沼市税条例の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、固定資産税における家庭的保育事業に係る課税標準額の特例、個人の市民税における住宅借入金等特別控除の適用期限の延長等を定めるためのものです。

議案98 鹿沼市都市計画税条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、特定事業所内保育施設に係る固定資産及び市民緑地の用に供する土地について、都市計画税の課税標準額の特例を定めるためのものです。

注目議案の解説

クローズアップ

鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～若者の集いの場を整備～

4月から音楽スタジオがオープン♪

■議案第99号 鹿沼市民文化センター条例の一部改正について

市民文化センター内に整備中の「音楽スタジオ」がこの4月にオープンします。部屋は防音や遮音にも気を配った作りで、ドラムセットやギターアンプなどが常設され、思い切りバンド練習ができます。利用料金も市内在住者は1時間あたり300円と、利用しやすい料金設定になっています。若者のバンド練習を始め、様々な音楽の「いちごいちえ」に活用し、市民の文化芸術活動を支援します。



議会からの お知らせ

足立区議会・鹿沼市議会 意見交換会が開催されました。

平成29年12月21日(木)足立区役所において、足立区議会・鹿沼市議会意見交換会が開催されました。この意見交換会は、今年度発足した足立・鹿沼友好自治体議員連絡協議会の初めての会合となります。協議会における本市議会の役員は、正副議長・議会運営委員長・各常任委員長の7名です。

鹿沼市と足立区とは、平成4年に友好都市を提携し、市議会も区議会と様々な交流を続けてきました。議会として協議会を発足し、両自治体間の友好関係の促進に寄与するため、両議会が相互に交流を深め、情報交換等を行います。

今回の会合では、足立区議会写真部作品展を見学しました。特別参加として本市議員4名の作品13点を展覧しました。その後、意見交換会が和やかな雰囲気の中で開催されました。



議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

2月	3月						
月	火	水	木	金	土	日	
2/19	20	21	22	23	24	25	
10:00 議会運営委員会							
26	27	28	3/1	2	3	4	
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明							
5	6	7	8	9	10	11	
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問			
12	13	14	15	16	17	18	
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会				
19	20	21	22	23	24	25	
9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決							

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページをご覧ください。または議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

監査の選任

平成29年12月8日に開催された第4回定例会において、議会選出の監査委員に大貫武男議員を選任することに全会一致で同意しました(議案第110号)。



監査委員 大貫 武男

表紙の写真は

板荷の日枝神社の祭り「アンバ様」は、市指定無形民俗文化財です。家々を回って悪魔を払い春の訪れを告げる行事で、二日間にわたって行われます。近年は地区外からのお客様も多く、人気が高まっています。

(画像提供：鹿沼市観光交流課)